

'69 AUSTIN MINI VAN MKII

オールドミニを現役仕事車として使う愉しみ

数ある長モノのなかでも、商用車として誕生し、多くのファンから支持されているバン。
そんなバンをベースに快適性を付け加え、現役の実用車として活躍する1台を紹介しよう。

photo= 池田志信 shinobu ikeda text= 清原直樹 naoki kiyohara
special thanks= インベリアルクラフト大阪 tel.072-720-6780 <http://www.imperialcraft.co.jp>

通常のバンにはラゲッジスペースにリアシートはないが、折りたたみ式のリアシートを装着。もちろん車検対応の4人乗車となる。



Free Van



Mini Story

もともと商用車として誕生したゆえに、現在まで良好なコンディションを保った車体を探すのが困難なミニバン。フルレストアはもちろん、ウインドウ追加の作業にもスキルを必要とするだけでなく、車体の構造変更も必要になってくるので、ミニバンを多く扱っているプロショップで購入、メンテがベターだ。

Owner: 森澤直輝さん



建築施工会社を営む森澤直輝さんは、このミニバンに施工素材を満載して仕事でも使用。奥さんも日常使いで乗られている。今後はホイールカラーの変更やコンディションの維持に気を配っていききたいとのことだ。



オースチンのエンブレムは当時モノ。ミニマガジンオリジナルよだれ掛けを発見！ いい色になっています！

コンパクトなミニの後部にラゲッジスペースを確保し、より実用性を高めたエステートボディとして登場したミニバン。
そんな実用車を、快適に乗りこなすためのモディファイが施されたのがこのクルマだ。フルレストアするとともに、サルーンに匹敵する快適性を与えることがコンセプトとなっている。
特徴としては、後部座席の取り付け。フロアパネルがエステートと共通のため、オーナーの好みでリアシートの有無を選択できるのだ。さらに、本来ならスチールパネルとなるクォーターにはガラスをはめ込みルーミーな車内としている。
エンジンはオリジナルか



快適仕様のAT。パワーアップされた1300インジェクションと相まってキビキビ走る。クーラー、カーナビもバッチリ。

ら1300ccのインジェクションに転換され、足まわりも高速安定性を考慮してあえて12インチ化するなど、現代の交通事情に合わせたモディファイが施され、快適な走りや居住空間の両立に成功している。
バンとしての特徴的なスタイルはもちろん、エステートとも違うスタイリング。人とはちょっと違うミニに乗りたいたいという人に、ぜひ参考にしていただきたい。



エンジンはシリンダーヘッド研磨が施された1300ccインジェクションに転換。通常はスチールパネルとなるクォーターにガラスがはめ込まれている。